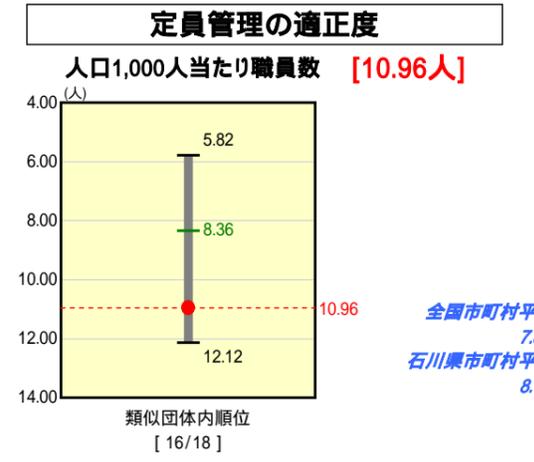
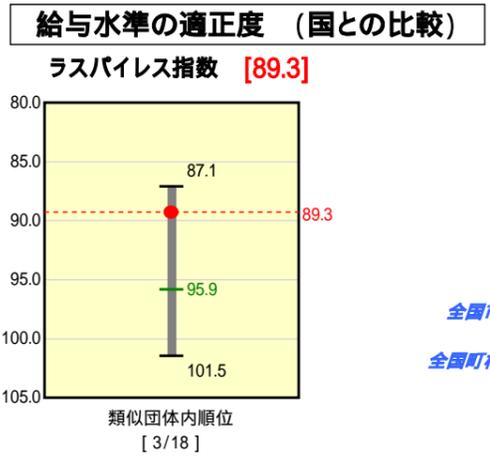
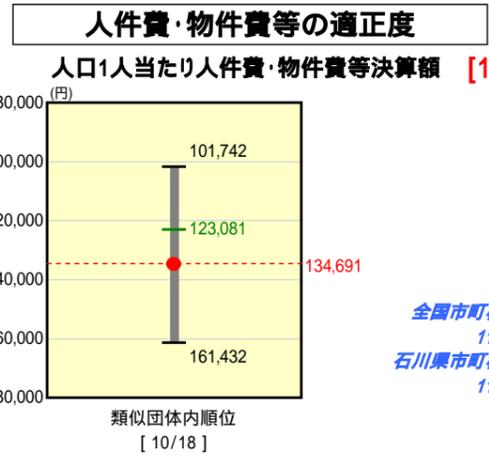
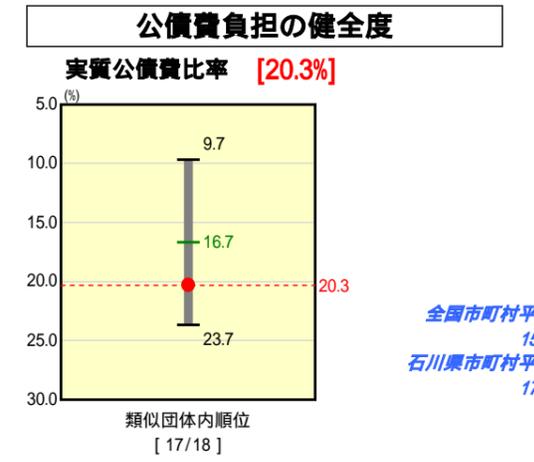
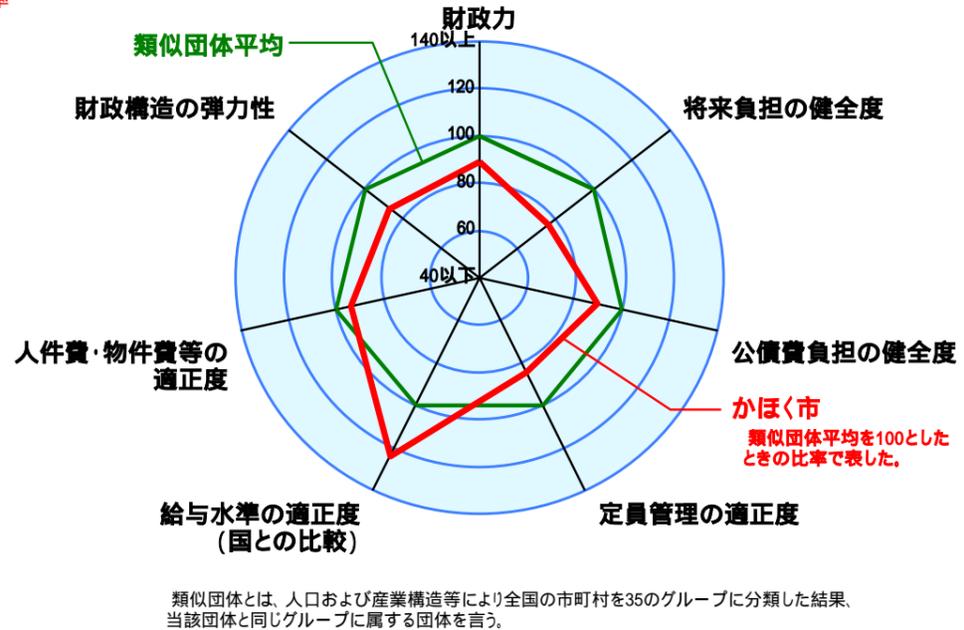
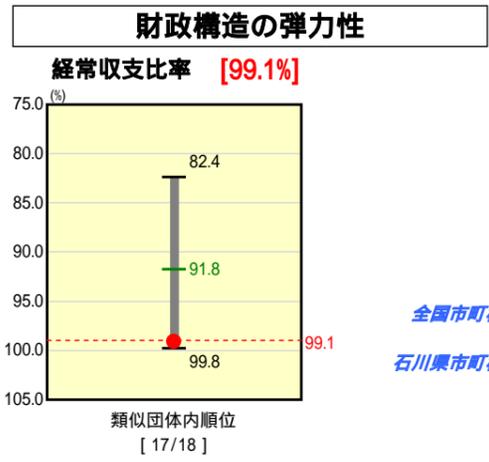
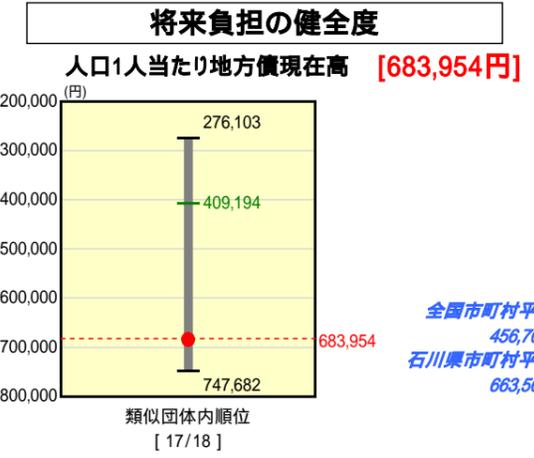
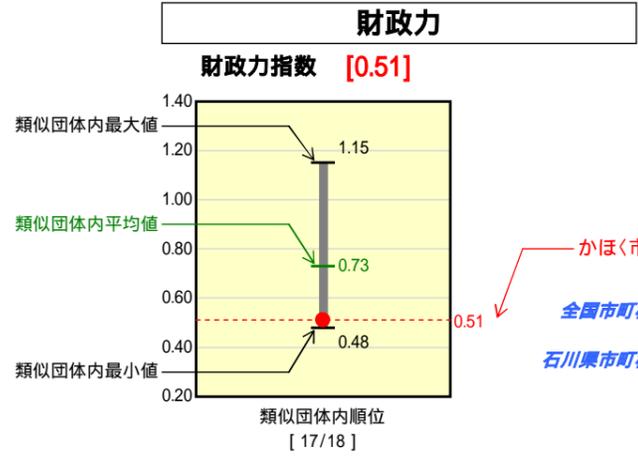


# 市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

## 石川県 かほく市

人口	35,397	人(H19.3.31現在)
面積	64.76	km <sup>2</sup>
歳入総額	14,398,118	千円
歳出総額	13,979,623	千円
実質収支	311,317	千円



人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

### 分析欄

**財政力指数**  
 税収の伸び悩みによる、基準財政収入額の低迷により類似団体平均より 0.22となっている。今後は積極的企業誘致等により、歳入の確保を図る。また、定員管理・給与の適正化等による歳出削減の実施や税源移譲により増加する地方税の徴収(滞納分の徴収率5年で2.5%の増)を図ることにより改善に努める。

**経常収支比率**  
 年々増加する扶助費や合併に係る大型事業に係る公債費、下水道事業の基準内繰出金が増加する一方、経常一般財源の根幹である税収の伸びが少ないため、類似団体平均である91.8%を7.3%上回る99.1%となっている。今後の見込みとしては下水道事業や公債費負担の増加が確認される中で、人件費抑制(H22までに30人減)を図るなどして、義務的経費の削減を行い、経常収支比率の抑制を図る。

**人口1人当たりの人件費・物件費等決算額 / 人口1,000人当たりの職員数**  
 平成17年10月制定の行政改革実施計画に基づき、新規採用者を退職者の1/3程度とするなど、平成22年度までに30人削減する方針である。今後は、定員適正化計画の見直しもあわせ人件費削減に努める方針である。

**人口1人当たり地方債現在高**  
 合併(平成15年度)からの新市基盤整備のための大型事業(中学校改築、ケーブルテレビ整備等)により類似団体平均を274,760円上回っている。今後は新発債の発行を抑制しつつも、必須の事業については、可能な限り有利な起債を活用することで、後年度の公債費負担軽減を図る。

**実質公債費比率**  
 当市では、下水道事業を旧町毎で施行してきたため、整備率が高い反面、下水道事業への公債費繰出金(基準外)が多額となっている。このため20.3%と類似団体と比較して3.6%上回る結果となっている。また、合併前後の大型事業の償還もH20年度から始まるため見通しは厳しい。今後は下水道使用料の値上げを検討し、繰出金の抑制を図る一方で、一般会計においても繰上償還の活用や、極力有利な起債を活用することで指標の改善に努める。

**ラスパイレズ指数**  
 当市では類似団体平均に比べ、6.6%と低い水準にある。また、管理職手当の削減や特殊勤務手当の見直しなど、給与全体の削減にも努めている。今後は適正な給与体系の見直しを実施していく。